

関係者各位

プランクトン調査結果のお知らせ

本日、午前9時に浦ノ内湾でプランクトン調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

養殖漁場の環境は、水温が23.7～27.3℃、塩分が9.8～32.7、溶存酸素量が0.1～11.3mg/Lでした。深度4mより浅い層では塩分が30未満となり、10m層及び底層では貧酸素状態になっていました。

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で610 cells/mL、カレニア・ミキモトイが最高で780 cells/mL、ディクチオカ属が最高で3 cells/mL確認されました。浦ノ内湾奥部及び養殖漁場でシャットネラ属が漁業被害が想定される密度を超えています。また、湾奥部ではカレニア・ミキモトイが再び増殖傾向を示していますので、十分注意してください。

海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなどの慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査定点	水温(℃)			塩分		
	光松	大鹿	福良	光松	大鹿	福良
0m	26.6	26.6	26.3	12.3	12.8	9.8
1m	26.1	26.0	26.5	20.6	22.3	19.5
2m	25.8	25.8	26.8	26.6	27.3	25.6
3m	25.7	25.7	27.3	28.9	28.8	28.9
4m	25.7	25.7	27.2	29.9	29.8	30.4
5m	25.7	25.6	27.2	30.7	30.8	31.4
10m	25.3	25.5	-	32.4	32.3	-
B-1m	23.7	23.9	25.7	32.7	32.7	32.2

調査定点	溶存酸素量(mg/L)		
	光松	大鹿	福良
0m	10.9	11.3	10.8
1m	11.1	9.4	10.6
2m	8.2	7.5	7.4
3m	5.8	6.0	5.5
4m	5.1	5.4	5.1
5m	4.3	4.8	4.1
10m	1.7	2.1	-
B-1m	0.1	0.1	1.4

	深度	シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	ディクチオカ属
鳴無	1m	520	780	0
	5m	9	4	1
中学校前	1m	610	180	-
	5m	5	0	-
福良	1m	8	0	-
	5m	4	0	-
光松	1m	220	0	0
	5m	12	0	3
大鹿	1m	59	0	-
	5m	1	0	-

